

かっこ悪くてもかっこいい父

山^{やま}中^{なか} 寧^ね々^ね

今日は、父の職場の近くを通る用事があった。母が「暑いからアイスでも差し入れしようか?」

と言った。私はあまり父の職場に行く事がないので、父の職場に行ける事がうれしかった。

今日の外気温は三十四度。屋根つないえん天下の中で父は働いていた。顔中に汗をかき、作業服も汗でビッシヨリとぬれて体にへばりついていた。

父の仕事はクレインオペレーター。すごく大きなクレインを操作して、高そうビル等を建設する仕事をしている。だから父は、真夏でも台風や雪の日でも一年中屋外で働いている。私には真似できない。父はとても強い。

仕事から帰宅した父は、手を洗うとすぐに冷ぞう庫に向かいビールを手に取る。それがお決まりのコースだ。

その後、夕飯を食べ、そのまま時々ねてしまう事がある。私はそれを見て、だらしのないなあ〜と思っていたけれど、今日働いている姿を見て、こんなに暑い中、一日中外にいるのだから仕方ない、仕方ないというよりも少しかっこいいとさえ、思った。

そんな父は、遊びの天才だ。ティッシュや輪ゴムその他近くにある物全てを遊び道具に変えてしまう。そのアイディアにはいつもおどろかされる。父は私と弟をよく追いかけてまわす。走り回っていると母に

「いい加減にしなさい!!」

とおこられる。そして、三人そろって

「は〜い。ごめんなさ〜い。」

とあやまって大笑いする。母はよく

「大きい子どもがもう一人いて大変だよ。」

と言うけれど、少し楽しそうだ。

休みの日は、つかれているのに、つりほりや沢ガニ採りなど母とだけでは行かないような場所に連れて行ってくれる。そこでも一番楽しそうなのは、大きい子どもとの父だ。だから、何をやっても父と遊ぶのは楽しい。父は

「遊ぶ時は一生けん命思いつきり遊べつ。」

と言う。父を見ているとその意味がよく分かる。

毎日、クタクタになるまで働いているのにいつも家族を楽しませてくれる父。洋服を買ったり好きな習い事が出来るのも父のおかげだと分っていたけど、今日汗ビッシヨリになって働いている父を見ていたらとてもありがたく思った。何か嫌な事があっても私も父のようにがんばりたいと思う。

お風呂に入らずにねてしまっても、ひげがのびていても、父は私にとって強くてやさしい世界一の父だ。

お父さん家族のためにいつもありがとう。働いているお父さんすごくかっこよかったよ。私もお父さんの様に強い大人になつてみせるよ。